

令和元年度(2019年度)
熊本県小学校新学習指導要領
全面実施に向けた
研究協議会

「体育科」

－ 目 次 －

- 1 体育科における目標及び資質・能力について
- 2 体育科における評価の在り方について
- 3 体育科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について
- 4 移行期間における学習指導等

1 体育科における目標及び資質・能力について

体育科の目標

小学校学習指導要領解説体育編 p17

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

求められる資質・能力

小学校学習指導要領解説体育編 p17

(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

「知識及び技能」

(2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

「思考力、判断力、表現力等」

(3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

「学びに向かう力、人間性等」

体育の見方・考え方

小学校学習指導要領解説体育編 p18

	見方	考え方
体育	運動やスポーツを、その 価値や特性 に着目して、 楽しさや喜び とともに 体力の向上 に果たす役割の視点から捉えること	自己の適性等に応じた『 する・みる・支える・知る 』の多様な関わり方と関連付けること
	※小学校においては、運動やスポーツは特性に応じた楽しさや喜びがあることと体力の向上につながっていることに着目するとともに、「 すること 」だけでなく「 みること 」「 支えること 」「 知ること 」など、自己の適性等に応じて、 運動やスポーツとの多様な関わり方 について考えることを意図している。	
保健	個人及び社会生活における課題や情報を、 健康や安全に関する原則や概念 に着目して捉えること	疾病等の リスクの軽減 や生活の 質の向上 、健康を支える 環境づくり と関連付けること
	※小学校においては、特に身近な生活における課題や情報を、保健領域で学習する病気の予防やけがの手当の原則及び、健康で安全な生活についての概念等に着目して捉え、病気にかかったり、けがをしたりする リスクの軽減 や 心身の健康の保持増進と関連付ける ことを意図している。	

体育科の見方・考え方を働かせる



体育科においては、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関係していることを実感できるようにする。

＝運動やスポーツの意義や価値に気付くことが大切



生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育むことが大切である。

＝「運動が大好き・大切」と思う子どもの育成

「知識及び技能」

「思考力, 判断力, 表現力等」

課題を見付け, その解決に向けた学習過程を通して相互にバランスよく関連させて高めること

「学びに向かう力, 人間性等」

どのように学ぶか

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

2 体育科における評価の在り方について

例1:【運動領域】

第1学年及び第2学年

「B 器械・器具を使つての運動遊び」

例2:【保健領域】

第5学年

「けがの防止」

上記2つの領域の内容を例にあけて説明

例1:【運動領域】

第1学年及び第2学年 「B 器械・器具を使っの運動遊び」

① 小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第1 目標

体育・保健体育(1)評価の観点及びその趣旨<小学校・体育>

② 小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第2
各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 1 目標

体育・保健体育(2)学年・分野別の評価の観の趣旨
<小学校・体育>第1学年及び第2学年

③ 第1学年及び第2学年 「B 器械
・器具を使っの運動遊び」の内容

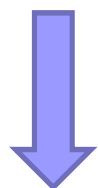
「内容のまとめりごとの
評価規準(例)」

小学校体育科の内容のまとめ

[第1学年及び第2学年]	A 体づくりの運動遊び
	B 器械・器具を使ったの運動遊び
	C 走・跳の運動遊び
	D 水遊び
	E ゲーム
	F 表現リズム遊び
[第3学年及び第4学年]	A 体づくり運動
	B 器械運動
	C 走・跳の運動
	D 水泳運動
	E ゲーム
	F 表現運動
	G 保健(1)健康な生活
	G 保健(2)体の発育・発達
[第5学年及び第6学年]	A 体づくり運動
	B 器械運動
	C 陸上運動
	D 水泳運動
	E ボール運動
	F 表現運動
	G 保健(1)心の健康
	G 保健(2)けがの防止
	G 保健(3)病気の予防

① 小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第1 目標

(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに, 基本的な動きや技能を身に付けるようにする。	運動や健康について自己の課題を見付け, その解決に向けて思考し判断するとともに, 他者に伝える力を養う。	運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し, 楽しく明るい生活を営む態度を養う。

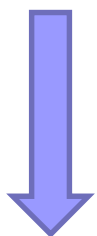


体育・保健体育(1)評価の観点及びその趣旨 ＜小学校・体育＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の行い方について理解しているとともに, 基本的な動きや技能を身に付けている。また, 身近な生活における健康・安全について実践的に理解しているとともに, 基本的な技能を身に付けている。	自己の運動の課題を見付け, その解決のための活動を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。また, 身近な生活における健康に関する課題を見付け, その解決を目指して思考し判断しているとともに, それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう, 運動に進んで取り組もうとしている。また, 健康を大切にし, 自己の健康の保持増進についての学習に進んで取り組もうとしている。

② 小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第2
各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 1 目標

(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
各種の運動遊びの楽しさに触れ, その行い方を知るとともに, 基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに, 考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動遊びに進んで取り組み, きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり, 健康・安全に留意したりし, 意欲的に運動をする態度を養う。



体育・保健体育(2)学年・分野別の評価の観点の趣旨
＜小学校・体育＞第1学年及び第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動遊びの行い方について知っているとともに, 基本的な動きを身に付けている。	各種の運動遊びの行い方を工夫しているとともに, 考えたことを他者に伝えている。	各種の運動遊びの楽しさに触れることができるよう, 各種の運動遊びに進んで取り組もうとしている。

「内容のまとめ」と「評価の観点」との関係

小学校学習指導要領解説体育編 p45記載内容

(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。

ア 固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをすること。

イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。

ウ 鉄棒を使った運動遊びでは、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすること。

エ 跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手をついてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすること。

(2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。

(3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

(下線) … 「知識及び技能」に関する内容

(点線) … 「思考力、判断力、表現力等」に関する内容

(二重線) … 「学びに向かう力、人間性等」に関する内容

「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の観点ごとのポイント

「知識・技能」のポイント

学習指導要領の内容

「(1)次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。」



技能

「～の動きを身に付けている。」



知識

「～の行い方を知っている。」

「思考・判断・表現」のポイント

学習指導要領の内容

「(2)器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。」



表 現

「考えたことを友達に**伝えて**
いる。」



思考・判断

「簡単な遊び方を**工夫している。**」

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

学習指導要領の内容

「(3) 運動遊びに進んで取り組み, 順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり, 場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。」



すべてが該当

「運動遊びに進んで**取り組もうとして**いたり, 順番やきまりを守り誰とでも仲良く**運動をしようとして**いたり, 場や器械・器具の安全に**気を付けている。**」

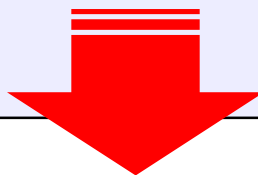
③ 小学校学習指導要領 2 内容 例:器械・器具を使っの運動遊び

器械・器具を使っの運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<p>(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ, その行い方を知るとともに, その動きを身に付けること。 ア 固定施設を使った運動遊びでは, 登り下りや懸垂移行, 渡り歩きや跳び下りをすること。 イ マットを使った運動遊びでは, いろいろな方向への転がり, 手で支えての体の保持や回転をすること。 ウ 鉄棒を使った運動遊びでは, 支持しての揺れや上がり下がり, ぶら下がりや易しい回転をすること。 エ 跳び箱を使った運動遊びでは, 跳び乗りや跳び下り, 手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすること。</p>	<p>(2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに, 考えたことを友達に伝えること。</p>	<p>(3) 運動遊びに進んで取り組み, 順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり, 場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。</p>

小学校学習指導要領解説体育編 p45, 49記載内容

内容のまとめりごとの評価規準(例)へ



内容のまとめりごとの評価規準(例)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>次の運動遊びの行い方を知っているとともに、その動きを身に付けている。</p> <p>ア 固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをしている。</p> <p>イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をしている。</p> <p>ウ 鉄棒を使った運動遊びでは、支持しての揺れや上がり下がり、ぶら下がりや易しい回転をしている。</p> <p>エ 跳び箱を使った運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをしている。</p>	<p>器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。</p>	<p>運動遊びに進んで取り組もうとしていたり、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしようとしていたり、場や器械・器具の安全に気を付けている。</p>

この後「①単元の評価規準(同様の予定)」



「②学習活動に即した評価規準」へ
(①②は11月に作成手順説明会実施予定)

例2:【保健領域】 第5学年の「けがの防止」

① 小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第1 目標

運動領域と同様

体育・保健体育(1)評価の観点及びその趣旨<小学校・体育>

保健領域をここから説明

② 小学校学習指導要領 第2章 第9節 体育 第2
各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標

体育・保健体育(2)学年・分野別の評価の観点の趣旨
<小学校・体育> 第5学年及び第6学年

③ 第5学年 「けがの防止」の内容

「内容のまとめりと
の評価規準(例)」

② 小学校学習指導要領第2章 第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標

(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
<p>各種の運動の楽しさや喜びを味わい, その行い方及び心の健康やけがの防止, 病気の予防について理解するとともに, 各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。</p>	<p>自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け, その解決のための方法や活動を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p>	<p>各種の運動に積極的に取り組み, 約束を守り助け合って運動をしたり, 仲間の考えや取組を認めたり, 場や用具の安全に留意したりし, 自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また, 健康・安全の大切さに気付き, 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。</p>



体育・保健体育(2)学年・分野別の評価の観点の趣旨<小学校・体育>第5学年及び第6学年

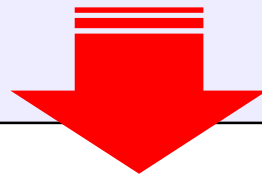
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各種の運動の行い方について理解しているとともに, 各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また, 心の健康やけがの防止, 病気の予防について理解しているとともに, 健康で安全な生活を営むための技能を身に付けている。</p>	<p>自己やグループの運動の課題を見付け, その解決のための方法や活動を工夫しているとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。また, 身近な健康に関わる課題を見付け, その解決のための方法や活動を工夫しているとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう, 各種の運動に積極的に取り組もうとしている。また, 健康・安全の大切さに気付き, 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組もうとしている。</p>

③ 小学校学習指導要領 2 内容 例:けがの防止

けがの防止について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<p>ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。</p> <p>(ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。</p> <p>(イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。</p>	<p>イ けがを防止するために、危険の予測や会費の方法を考え、それらを表現すること。</p>	<p>※内容には、学びに向かう力, 人間性等について示されていないことから、該当の学年の目標(3)を参考にする。</p>

内容のまとめりごとの評価規準(例)へ



内容のまとめりごとの評価規準(例)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>けがの防止について理解しているとともに、けがなどの簡単な手当についての技能を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解している。 ・けがなどの簡単な手当について、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、技能を身に付けている。 	<p>けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</p>	<p>健康や安全の大切さに気付き、けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>※必要に応じて、学年別の評価の観点の趣旨(「主体的に学習に取り組む態度」にかかわる部分)等を用いて作成する。</p>

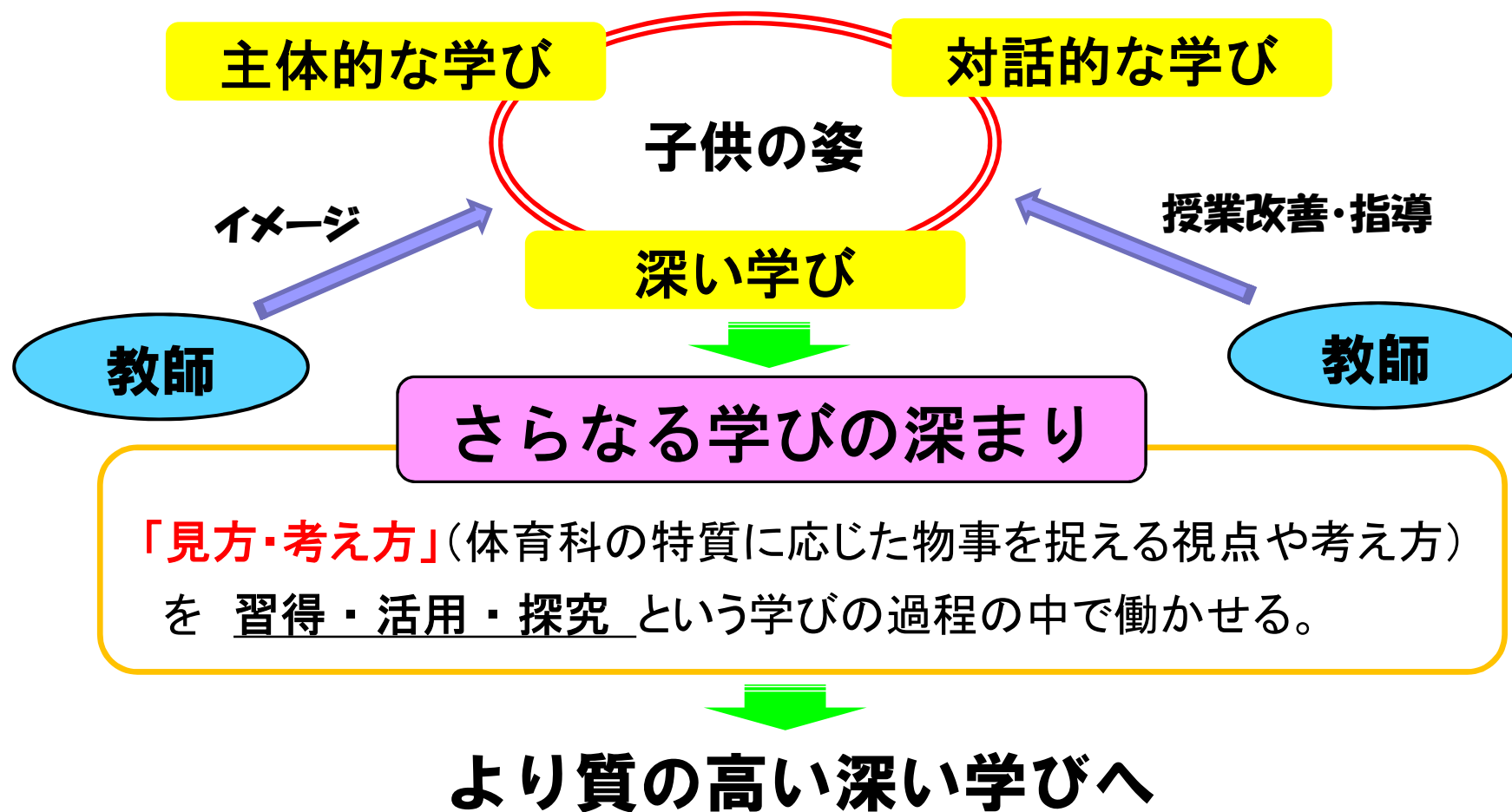
この後「①単元の評価規準(同様の予定)」



「②学習活動に即した評価規準」へ

(①②は11月に作成手順説明会実施予定)

3 体育科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について



主体的な学びにおいて想定される子供の姿

- 学ぶことに興味や関心をもち、毎時間、見通しをもって粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげている。
- 自らの課題を修正したり、新たな課題を設定したりしている。
- 課題の解決に向けて、何度も粘り強く取り組んでいる。
- 自他の運動や健康について、自ら将来を見通したり、振り返ったりしている。

授業改善の例

学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面を設定する。

視点の例

興味や関心の喚起

学習の見通しの提示

課題と課題解決のための活動の提示

学習の振り返りの提示

学びの成果の確認

対話的な学びにおいて想定される子供の姿

- 子供同士の対話を通して、自己の思考を広げたり、深めたりしている。
- 実社会の人々が課題を解決している姿を調べたり、話を聞いたりすることで自らの考えを広めている。
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したりすることで、新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものにしたりしている。
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図っている。

授業改善の例

対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面を設定する。

視点の例

表現力の伸長

必然性のある対話

新たな気付きや動機付け

深い学びにおいて想定される子供の姿

- 運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、考えを深めている。
- 自ら問いを見だし、課題の追及、課題の解決を行う探究の過程に取り組んでいる。
- 精査した情報をもとに、自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成している。
- 感性を働かせて、思いや考えをもとに、豊かに意味や価値を創造している。

授業改善の例

学びの深まりをつくり出すために、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか。

視点の例

試行錯誤の促し方

思考の深まり方

体育の見方・考え方の醸成

4 移行期間における学習指導等について

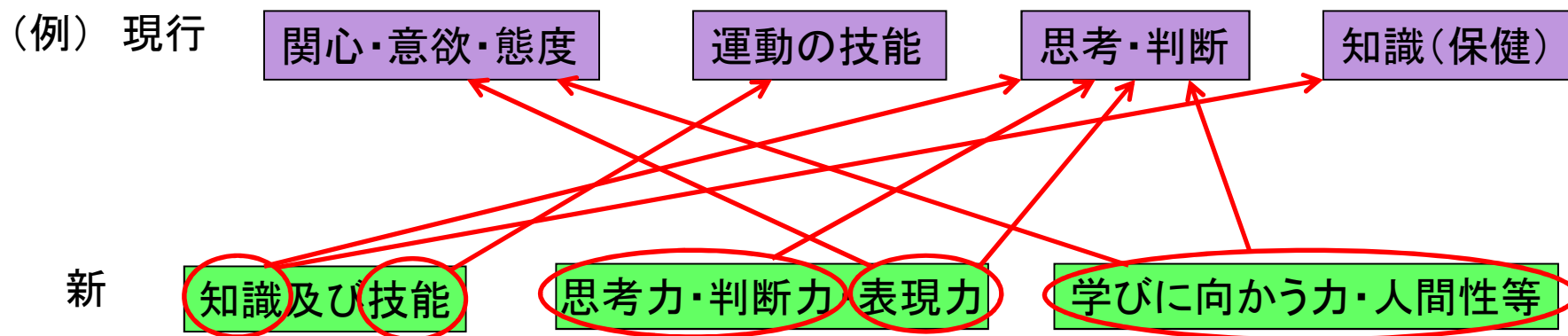
平成29年7月7日付け 29文科初第536号 文部科学事務次官
「小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について(通知)」

- 1 移行期間中の授業時数 … ○ 現行どおり
- 2 総則 … ○教育課程の編成・実施にあたっては、新小学校学習指導要領の規定を踏まえ、その趣旨の実現を図ること。
- 3 各教科等ごとの特例の概要等
… ○全部又は一部について新小学校学習指導要領によることができる。(体育)
- 4 各教科等の学習指導上の留意事項
… ○新小学校学習指導要領による場合には、その内容に応じて適切な教材を用いるとともに、所要の授業時数を確保して指導が行われるようにすること。
○2学年まとめた目標及び内容⇒平成31年度:翌年度を見通した適切な指導計画を作成して指導。平成32年度:前年度における指導内容を踏まえて適切な指導計画を作成して指導。

5 移行期間中における学習評価の取扱い

… 移行期間に追加して指導する部分を含め、現行小学校学習指導要領の下の評価規準等に基づき、学習評価を行うこと。

※「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料(国立教育政策研究所作成)」等に準じた**評価に関する指針や参考資料等**が示された際には，それらをもとに，学校の実態応じて新たな評価規準を作成し，評価を行う。



班別演習

児童生徒に育成すべき資質・能力を確実に育む
ことを目指した授業改善

～「主体的・対話的で深い学び」の視点による
授業改善及び単元計画の作成～